

令和3年度 各専門部会・プロジェクト状況等報告書

1. 名称 【 就労支援部会 】

2. 部会員数 【 32 名】令和4年5月9日時点

3. 令和3年度の開催回数

4月			5月			6月		
会議		回	会議		回	会議	1	回
参加者		名	参加者		名	参加者	22	名
7月			8月			9月		
会議	1	回	会議		回	会議	1	回
参加者	20	名	参加者		名	参加者	22	名
10月			11月			12月		
会議		回	会議	1	回	会議		回
参加者		名	参加者	15	名	参加者		名
1月			2月			3月		
会議	1	回	会議		回	会議	1	回
参加者	15	名	参加者		名	参加者	9	名

会議開催総回数 6 回
参加者総数 103 名

4. 令和3年度の活動内容について

○MSPA（発達障害の要支援度評価尺度）に関する研修
 ○ハローワークから障害福祉に関する国の動向・障害者の雇用状況。就労事業所の数など基礎的な部分の研修等による就労に関しての全体像の把握
 ○みやざき就業・生活支援センターから就労支援に関する事、就労支援、ジョブコーチ等制度的な研修を受けた。
 ○宮崎障害者職業センターを招き、職業センターに関する業務、地域での就労支援についての研修を受けた。
 ○令和3年度の振り返りと次年度に向けた話し合い。
 （実施できなかった事項）
 ○各事業所の課題のある事例等の共有のため、就労系事業所への参加の呼び掛け。
 ○就労継続B型に特化した課題・希望を吸い上げ・検証する。

5. 令和4年度の活動予定について

○MSPAに関する研修を今年度も実施。
 ○特別支援学校の進路担当教諭をお招きし就労支援の現状、課題や効果等を把握する。
 ○宮崎県発達障害者支援センターの就労支援担当者をお招きし就労支援の現状、課題や効果等を把握する。
 ○若者サポートステーションの就労支援担当者をお招きし就労支援の現状、課題や効果等について把握する。
 ○就労先として1次産業（農林水産業）について検討する。
 ○就労継続B型事業所で農福連携と地域共生を実現している「さんさん山城(京都)」の実践報告研修
 ○就労系事業所の部会参加を増やし各事業所の就労に関する課題等について、情報収集を行う。